



第4回 宗像国際環境100人会議

The 4th MUNAKATA Eco-100 International Forum

海の鎮守の森プロジェクト—— 大いなる海 生命の循環

- ▶ 第4回目となる今年は"大いなる海 生命の循環"をテーマに掲げプログラムを構成し、1日目は、世界の環境について映像を見ていただき、それからシンポジウムを行います。
- ▶ 2日目には、恒例となりましたフィールドワークを行います。今回も海女の発祥の地・鐘崎の海に福岡県立水産高等学校アクアライフ科の生徒たちが行ってきた「豊かな海づくりProject-T」の取組みの中から、竹漁礁の組立～海中設置までの一連の取組みを皆さ一緒に行っていきたいと考えています。また白砂青松のさつき松原及び大島の遙拝所の下の海岸に打ち寄せられる漂着ゴミの清掃も行います。
- ▶ 3日目は特別上映として『地球交響曲 ガイアシンフォニー』の中で、宗像の取組みにインスパイアを与えてくれる作品を選んで上映いたします。その後、市民公開シンポジウムを行ない、『世界遺産から始まる新たな挑戦！』と題し、持続可能な観光・環境地づくりを目指し、私たちがこれから取り組まなくてはならないテーマを語り合います。最終的により実践的な行動目標を記した『宗像宣言』としてまとめていきます。

●期 間：平成29年8月25日（金）～27日（日）

●会 場：玄海ロイヤルホテル／宗像市田野1303

福津市文化会館カメラアホール／福津市津屋崎1-7-2

●8/25（金） 玄海ロイヤルホテル

13:00 開会（受付 12:00）

13:10 映像でみる世界の環境「中国でのPM2.5ドキュメント」「南極大陸からの環境ポート」「マイクロプラスチック東南アジアゴミ問題」

15:00 パネルディスカッション

50年前の海を取り戻すために一海洋大国ニッポンの可能性～宗像への提言

18:30 オープニングパーティー

●8/26（土） 玄海ロイヤルホテル

09:00 フィールドワーク「竹漁礁作り」「漂着ゴミ拾い」

14:00 分科会 ※夕食各自地元飲食店

●8/27（日） 福津市文化会館カメラアホール

09:15 開会（受付 08:45）

09:25 映像でみる世界の環境「ガイアシンフォニー／木版画 名嘉睦稔」

10:30 基調講演

11:20 シンポジウム

世界遺産から始まる新たな挑戦-持続可能な環境・観光地域づくりを目指して

12:50 宗像宣言（終了13:00）

- 参加費：無料
 - ※8/25 パーティー(6000円)
 - ※8/26 フィールドワーク(材料及び弁当代1000円)に参加の方は実費を頂戴します。
- 申 込：<http://www.munakata-eco100.net>
- 問合せ先：info@munakata-eco100.net
- 主 催：宗像国際環境会議実行委員会
- 共 催：宗像市
- 後 援：環境省、福岡県、福津市
- 宗像国際環境会議実行委員会構成団体：宗像観光協会、宗像漁業協同組合、宗像大社、筑前七浦の会、宗像環境団体連絡協議会、一般社団法人九州のムラ、特定非営利活動法人改革プロジェクト、宗像フェス事務局、株式会社ジェイワーク、キリンビール株式会社、シャボン玉石けん株式会社、新日鉄住金エンジニアリング、新日鉄住金株式会社、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、株式会社パワージャパンプリユス、一般社団法人UMI/SACHI 推進会議、九州大学大学院工学研究院、宗像市（順不同）

《玄海ロイヤルホテル》 宗像市田野1303 ☎0940-62-4111

※無料送迎バス運行（宿泊者のみ）

要予約☎0940-62-1600

※予約は前日18:00迄

※博多駅は筑紫口ロータリー

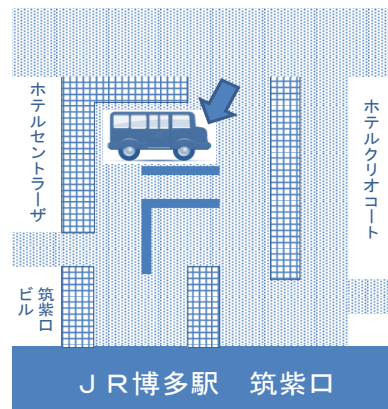
東郷駅は北口ロータリー

※博多駅～ホテル約80分

○博多駅発 | 10:30 | 13:30 | 17:00 |

○東郷駅発 | 11:25 | 14:25 | 17:55 |

○ホテル発 | 09:00 | 12:00 | 15:30 |



《福津市文化会館カメラアホール》 福津市津屋崎1-7-2 ☎0940-52-3321

※8月27日当日はホテルよりバスを準備

8/25 (金)

●映像でみる世界の環境

- ・中国でのPM2.5ドキュメント……………旗手啓介/NHKディレクター
- ・南極大陸からの環境レポート……………今林隆史/RKB記者
- ・マイクロプラスチック東南アジアゴミ問題……永山弘二/KBC記者

●パネルディスカッション

50年前の海を取り戻すために —海洋大国ニッポンの可能性～宗像への提言



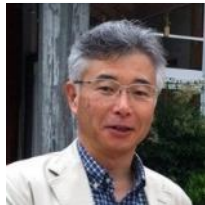
中村忠彦 宗像漁業協同組合組合長

昭和26年7月8日 福岡県宗像市（旧宗像郡玄海町）鐘崎生まれ。昭和42年3月 玄海町立玄海中学校を卒業、同年4月 漁業に従事、平成21年4月から、鐘崎ふくはえ鑑船団長に就任、平成26年4月から 宗像漁業協同組合代表理事組合長に就任、現在に至る。平成27年6月 福岡県漁業協同組合連合会副会長理事に就任、現在に至る。



清野聡子 九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授 ファシリテーター

九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授。海の貝拾いを3歳から始め、現在は海岸環境の保全・再生を研究。環境保全と人間活動の両立の可能性を研究。専門生態工学、環境計画・政策。東京大学農学部水産学科卒業、大学院農学研究科水産学専攻修士課程修了、総合文化研究科広域科学専攻助手。



中井徳太郎 環境省総合環境政策統括官

東京大学法学部卒業後、大蔵省入省。主計局主査（農林水産係）などを経験し、富山県に向出。生活環境部長などを勤め、日本海学の確立・普及に携わる。2010年財務省主計官（農林水産省担当）。東日本大震災後の2011年7月の異動で環境省に。会計課長、秘書課長、大臣官房審議官（総合環境政策局担当、総括担当）、廃棄物・リサイクル対策部長を経て現職に至る。



林政彦 福岡大学理学部教授

名古屋大学工学部航空学科卒業。名古屋大学空電研究所助手、太陽地球環境研究所助手。第32次日本南極地域観測隊越冬隊員として昭和基地で越冬観測に従事。第38次日本南極地域観測隊越冬隊員としてドームふじ観測拠点で越冬観測に従事。学校法人福岡大学理学部地球圏科学科助教授を経て現職。



岩元美智彦 日本環境設計代表取締役会長

1964年鹿児島県生まれ。北九州市立大学卒業後、大手繊維メーカーにて営業職を経験。日本を資源国家に！「脱石油」、「脱食物由来」を目指せ！を事業目標に、2007年1月、日本環境設計株式会社を設立。衣服リサイクルの「FUKU-FUKUプロジェクト」やプラスチック製品リサイクルの「PLA-PLUSプロジェクト」を実施。



平野秀樹 青森大学教授

九州大学卒業。農水省中部森林管理局長、東京財団上席研究員を経て、現職。「聞き書き甲子園」「森林セラピー」「森の巨人たち」を手がけた。離島への旅歴は20年。著書に『日本、買います』（新潮社）、『奪われる日本の森』『森林理想郷を求めて』『森の巨人たち』『森林セラピー』（共編）『森林医学』『森林医学Ⅱ』（共編）、『宮本常一』（共著）等がある。



合田真 日本植物燃料代表取締役

京都大学中退、災害情報配信会社を買い取りバイオ燃料事業を始める。マレーシア、モザンビークでエネルギー・食料・金融の地産地消モデル事業を展開。モザンビークでモバイル銀行の設立を計画。



磯辺篤彦 九州大学教授 大気海洋環境研究センター

1964年滋賀県生まれ。工学修士。愛媛大学、㈱エコー、水産大学校 漁業学科(現・海洋生産管理学科)助手、九州大学大学院総合理工学研究科大気海洋環境システム専攻助教授を経て現職。



岸本吉生 中小企業庁中小企業政策統括調整官 コーディネーター

東京大学法学部卒業、米国コロンビア大学国際関係学修士。通商産業省入省、経済産業省産業技術環境局環境経済室長、中小企業庁経営支援課長、愛媛県警察本部長、九州経済産業局長を経て現職に至る。

8/26 (土)

- フィールドワーク1 鐘崎・海の鎮守の森づくりプロジェクト
- フィールドワーク2 さつき松原・漂着ゴミ清掃 マイクロプラスチック収集
- フィールドワーク3 大島・沖ノ島遙拝所下 漂着ゴミ清掃
- 分科会
 - ① 環境会議実行委員会参画企業×地元環境団体による活動報告&ブレスト会議
 - ② 公開授業 地元中高生の宗像国際育成プログラム 黒田玲子/東京理科大教授
 - ③ 高校・大学生による環境セッション 水産高校、光陵高校、九州工業大学 など
 - ④ 世界遺産が抱える課題、観光と環境保全 藤原恵洋/九州大学教授他



黒田玲子 東京理科大学教授

1993年猿橋賞受賞。2000年より、森・小泉・安倍内閣で総合科学技術会議議員、教育改革国民会議委員を務める。専門は、化学、生物化学、生物物理学で自然界に広く現れる左右性(キラリティー)について長年に渡り研究を続ける。2013年ロレアル・ユネスコ女性科学賞受賞。国際科学会議(ICSU)元副会長。2013年10月、「国連科学諮問委員会」の委員に選出された。



藤原恵洋 九州大学教授

九州大学工学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修了、芸術学修士。東京大学大学院博士課程建築学専門課程修了。國學院大学兼任講師、東京大学生産技術研究所研究員、千葉大学工学部助手、九州芸術工科大学工業設計学科講師・助教授を経て、同芸術情報設計学科助教授。2002年、オランダ国立ライデン大学文学部日文学研究所客員教授。2004年より九州大学大学院教授。

●映像でみる世界の環境 **ガイアシンフォニー特別編／木版画 名嘉睦稔****葛城奈美** やおよろずの森代表 司会

東京大学農学部卒業後、TVドラマ、CFに出演。自然環境問題・安全保障問題に取り組み、森づくり、米づくり、漁業活動等の現場体験をもとにメッセージを発信。TBSラジオ『ちょっと森林のはなし』森の案内人(2008～2011)。林政審議委員。公募予備自衛官。予備役ブルーリボンの会広報部会長。産経新聞『直球&曲球』コラム連載中。

●基調講演

**安田憲喜** 環境考古学者

ふじのくに地球環境史ミュージアム館長、立命館大学環太平洋文明研究センター所長。1946年三重県生まれ。国際日本文化研究センター教授、東北大学大学院教授を経て、現在に至る。立命館大学環太平洋文明研究センター長、国際日本文化研究センター名誉教授。スウェーデン王立科学アカデミー会員賞、中日文化賞、紫授褒章など受賞。

●シンポジウム

世界遺産から始まる新たな挑戦！ — 持続可能な環境・観光地域づくりを目指して**上野和行** 大島漁師

昭和47年大島生まれ。18歳から漁師。4代続く漁師。一本釣、刺し網、海士漁を生業とする。沖ノ島周辺を主な漁場とし、沖ノ島への篤い信仰を持つ漁師の組合「沖ノ島仲間」の一員。外国から流れてくるロープ、ポリタンクなどもの大量のゴミ、そこで事故が起こることも増えている、春先の海の汚れが最近気になる。

**相川七瀬** 歌手作家

1995年「夢見る少女じゃいられない」でデビュー、現在までのCDトータルセールスは1200万枚を越える。音楽活動以外にも絵本の出版や小説「ダリア」を執筆。岡山県総社市、長崎県対馬市、鹿児島県南種子町の赤米大使として伝承文化継承を活動。2014年には日本の聖地の旅エッセイ「神結び」、続編「縁結び」、2015年には第三弾「太陽と月の結び」を出版。

**葦津敬之** 宗像大社宮司

昭和37年福岡生まれ。昭和60年皇學館大學を卒業後、熱田神宮に奉職。62年神社本庁に奉職。平成8年主事。総務課長、情報管理課長、教学課長、国際課長、21年参事、財務部長、広報部長を経て、24年宗像大社に奉職。25年権宮司昇任、27年宮司昇任、現在に至る。ライフワークは自然環境問題。

**八幡暁** カヤック冒険家

大学時代より素潜漁を始め、卒業後は「潜れる海があれば、生きていける」と各地の漁師の仕事を学びながら国内外を巡る。シーカヤックと出会い、2002年からオーストラリアから日本までの多島海域を舞台にした人力航海の旅「グレートシーマンプロジェクト」をスタート。フィリピンー台湾海峡横断(07)など世界初となる航海記録を複数持つ。

**奥田政行** アルケッチャーノオーナーシェフ

山形県生まれ。食の都庄内親善大使、地産地消を代表する料理人。鶴岡市農業発展奨励賞、山形県産業賞、第一回辻静雄食文化賞、第一回農林水産省料理マスターズなどを受賞。日本各地でレストランをプロデュースし地方の食材の情報発信拠点を作っている。スイスタボス会議ジャパンナイト総料理監修、ミラノベジタリアンチャンス世界3位。

**藤原恵洋** 九州大学教授

九州大学工学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修士、芸術学修士。東京大学大学院博士課程建築学専門課程修了。國學院大学兼任講師、東京大学生産技術研究所研究員、千葉大学工学部助手、九州芸術工科大学工業設計学科講師・助教授を経て、同芸術情報設計学科助教授。2002年、オランダ国立ライデン大学文学部日文学研究所客員教授。2004年より九州大学大学院教授。

**養父信夫** 宗像国際環境100人会議実行委員会事務局長 コーディネーター

一般社団法人九州のムラ代表理事。1962年宗像生まれ。九州大学法学部卒業後、86年㈱リクルート入社。95年、都市部と農村とをつなげるグリーンツーリズムを広げるために独立。97年より「九州のムラ」編集長。「Nippon/MURA」発行・編集人。総務省地域創造力アドバイザー、内閣府地域伝道師。2017年6月、一般社団法人UMI・SACHI推進会議を設立。